

一般質問…ここが論点

3月定例会

3月市議会定例会中、10日、11日の2日間で4人の議員が会派を代表して質問し、3人の議員が個人質問を行いました。その主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも6月上旬です。

蒲郡市政クラブ
代表 鎌田 篤司

こども議会の開催を

問 市制五十周年記念事業の一環として「こども議会」の開催を考えている。蒲郡の子どもたちに、故郷の今と未来の夢を提起してもらいたいのが、予算等その実現性はどうか。

答 開催にあたっては教育委員会ともども全面的に協力したい。こども議会の結果を事業採択し、行政に反映できる部分は積極的に採用し、将来を担う子どもたちの議論を実のあるものにしたと考えている。

進出・移転企業への優遇策は

問 市外からの企業誘致が進まない、また市内の優良企業が市外へ流出してしまう現状の中、これらの企業に対する優遇策が必要だと考えるがどうか。

答 優遇策に先立ち、用地確保が前提と考えるが、思うように開発適地が見つからないのが現状である。その中で西浦町原山砕石場跡地を工業用地としての開発を検討している。

一定規模の進出・移転希望があれば、開発を前提に関係企業との勉強会を設置して、事業の具体化を図っていききたい。また、開発が可能となれば、進出・移転企業に対する優遇策について検討する考えである。

形原西浦線の進捗状況は

問 形原、西浦方面の主要幹線道路は、幅員も狭く交通事故や、災害時の避難輸送路として心配な状況である。これらを解消するために形原西浦線を早急に整備する必要があるが、進捗状況はどうか。

答 十六年度から第三工区である県道東幡豆蒲郡線までの延長約四百六十メートル区間の用地買収に着手していく。

現在事業実施中の区間で、

形原西浦線の早期整備を



用地買収に大変苦慮している物件があるが、粘り強く交渉を進め、少しでも早期に開通できるよう努力する。最終的には土地収用も検討している。

保育園の効率的運用を

問 少子化が進む中、三位一体改革の一環として公立保育園の運営に対する国・県からの負担金が一般財源化された。

保育需要がさらに高まり、一方で財政面においてはさらに厳しくなるといふ現実を踏まえ、保育園の民間委

託や民間保育所の誘致なども視野に入れて、より一層効率的な運営を目指すべきだと思いがどうか。

答 多様な保育ニーズに対応するため、保育園施設の有効活用を図って需要に添えてきたが、これ以上の受け入れ拡大は困難な状況である。

ゼロから二歳児一人当たりの年間経費は百九十七万円、そのうち市費は百十二万円、三歳児では総額九十二万円のうち市費五十七万円、四、五歳児では総額八十七万円のうち市費は五十八万円かかっている。

今後も保育需要はますます高まると思われるが、新たな需要に対しては低年齢児保育の民営化や新たな民間保育所の誘致など多様な選択肢を考え、より一層の効果的な保育運営を今後一年かけて検討し、一定の方向性を出していきたい。

鳥インフルエンザ等の対策は

問 一月に発生が確認されて以来、広域的に飛び